

PEPSのさらなる発展に向けて Expecting further development of PEPS

津田 敏隆^{1*}
TSUDA, Toshitaka^{1*}

¹ 京都大学生存圏研究所

¹ Research Institute for Sustainable Humanosphere (RISH), Kyoto University

JpGUは公益事法人として、連合大会開催と並ぶ重要な事業としてジャーナル発行を位置付けています。3年余りにわたる具体的な検討を踏まえて、2014年4月にJPGU独自のオープンアクセス電子ジャーナルとして“Progress in Earth and Planetary Science”を発行致しました。同時に、JSPSの研究成果公開促進費「国際情報発信強化」の予算が、2013年度から5ヶ年にわたり措置されることになりました。JpGUはPEPSの「ジャーナル編集委員会」を設置するとともに、「ジャーナル企画経営委員会」を構成し出版事業の全体（方針、企画、財政など）に関する長期的な戦略を検討しています。JpGUに参加する学協会の多くが出版事業を行っている状況を踏まえて、地球惑星科学の学界全体の情報発信力の強化に向けた方策を検討しています。JpGU会員の財産として新ジャーナル「Progress in Earth and Planetary Science」を育てていきたいと考えていますので、将来の発展に向けて皆様のご理解とご支援をお願い申し上げます。

キーワード: 電子ジャーナル, オールンアクセス, PEPS
Keywords: open access, e-journal, PEPS